

平成30年度伊方発電所の放射性固体廃棄物処分計画
書及び新燃料搬入計画書の提出等について

30. 3. 30
原子力安全対策推進監
(内線 2352)

1 本日、四国電力(株)から、安全協定に基づき、平成30年度の伊方発電所放射性固体廃棄物処分計画書及び新燃料搬入計画書の提出及び平成29年度の輸送実績の報告がありました。

2 同計画書によると、輸送計画の概要は、次のとおりです。

(1) 放射性固体廃棄物処分計画書

	搬出分	返送分
数量	放射性固体廃棄物 480本	放射性固体廃棄物 2本
回数及び時期	1回(平成30年11月)	
輸送方法	伊方発電所専用岸壁から海上輸送する。	伊方発電所専用岸壁まで海上輸送する。
搬入先/搬入元施設名	日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センター (青森県上北郡六ヶ所村)	
輸送容器の型式	LLW-2型	
輸送容器の個数	60個	1個

(2) 新燃料搬入計画書

搬入数量	3号機 新燃料集合体 78体(1回目:24体、2回目:54体)	
搬入回数及び時期	2回(1回目:平成30年5~7月、2回目:10~12月)	
輸送方法	伊方発電所専用岸壁まで海上輸送する。	
搬入元施設名	三菱原子燃料(株)東海工場 (茨城県那珂郡東海村)	原子燃料工業(株)熊取事業所 (大阪府泉南郡熊取町)
輸送容器の型式	MFC-1型	NFI-V型
輸送容器の個数	18個 (1回目:12個、2回目:6個)	21個 (1回目:0個、2回目:21個)

なお、使用済燃料については、30年度の輸送計画はありません。

県としては、四国電力(株)から提出された放射性固体廃棄物輸送安全対策書及び新燃料搬入安全対策書について、伊方原子力発電所環境安全管理委員会原子力安全専門部会の意見を聴くとともに、伊方発電所への搬入時及び同発電所からの搬出時には職員が立会い、輸送の安全性を確認することとしています。

3 平成29年度の輸送実績は、次のとおりです。
放射性固体廃棄物、使用済燃料、新燃料とも輸送を実施していません。